

## H19年電波伝搬実験を振り返って

H19.5.27

J A 1 U P E

今年も電波伝搬の季節がやって来た。240グループの「より強く、より遠く」に基づいて、4月中ごろから移動地選定の準備に取り掛かった。私のモットーは、出来るだけ標高が高い場所か、標高が望めなければ海に近いところと決めている。従来より、箱根大観山を移動拠点としていたが、今回はインターネットの地図情報から入笠山（長野県）、天城高原（静岡県）の2点をピックアップした。

【5月4日】

中央道諏訪南ICを下車し、標高1900メートルの入笠山へ車を走らせた。標高が高くなると路肩の所々に残雪が残っていた。5月連休中とはいえ、ここまで来るとさすがに行き交う車はいない。頂上近くになり周りが開けてきた。が、目の前に八ヶ岳連峰がそびえており一抹の不安。車の駐車出来るスペースを見つけ、受信ダイヤルをクルクル回すが殆ど入感が無く、微かに大月移動局が聞こえる程度であった。念の為、240でCQを出したが・・・・・・。

高いガソリン代、高速代はおろか貴重な1日を無駄に使ってしまった脱力感をおぼえながら下山した。途中、SAで昼食を取り、帰りを急いだが、談合坂付近から予期していた5月大型連休の渋滞に巻き込まれてしまった。踏んだりけったりとはこの事か。トトロ走っていると、固定からJH1DXJ局のCQを入感し早速QSOする。JE1PPG, JA1KTNからブレイク有り。聞けば、両局ともそれぞれ2~3キロ前を走っており、自宅も同じ方向とのこと。偶然とはいえ、これが50.240SSBモービルの面白さか。渋滞の事などすっかり忘れ家路に着くことが出来た。

【5月13日】

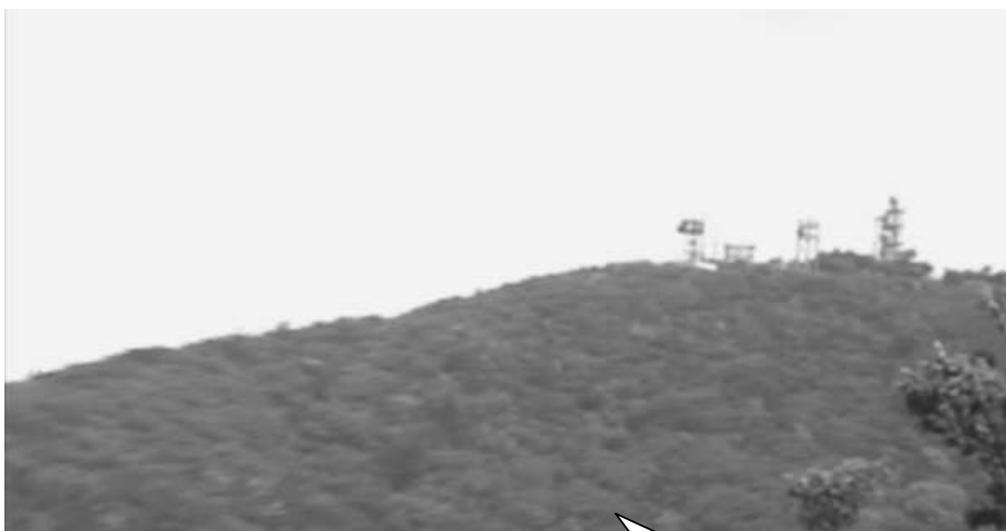
TOYO TIRES ターンパイク（旧箱根ターンパイク）を登り大観山を横目に見ながら伊豆スカイラインを南下し天城高原GC駐車場に着く。受信ダイヤルを回して見ると、JA2IGYビーコンがS2~3で入感する。（最も、今回の電波伝搬実験には、あまり意味をなさないが。）茨城の移動局も入感。ここは標高1050メートルと低いが一箇所の障害物（1200メートルの遠笠山）のみで期待持てそうな気がする。今年は、ここにするか。但し、JA1DQE矢矧OMが、この近くで実験しBFな結果に終わっている過去がある為油断は禁物だ。

【電波伝搬当日】

5時半ごろ家を出た。天候良し。Esが出なければなお良し。まだまだこの時間は各局の入感無し。1時間位走ったころ各局の声が聞こえてきた。8時ごろ天城高原GC

駐車場到着。センター局が呼び出している各局の信号を確認する。ありゃ～JK1CZD鈴木さんが聞こえない。車を360度回転、駐車場内をあっちこっち移動したが入感無い。『やるからには最長距離交信を』との目論見が完全に吹っ飛んでしまった。9時からセンター局の支持に従い順次開始、当局の順番前ごろからCWのカブリが発生した。それでも、JJ1SXA池さんとRSレポートの交換をすることが出来、この交信が当局の最長距離交信となった。その他、JA1RIZ、JN1PNQ局の移動地とは最初から地理的に無理だろうと諦めていたが、やはり聞こえなかった。又、JA1FYQ局はトラブル発生と云うことであった。今回の電波伝搬実験は、当局にとって良い成績を残すことが出来ず、早々に天城高原を上げた。後で、JJ1SXA池さんより「JK1CZD鈴木さんが当局へRSレポートを送っていた」との事。う～ん、残念。

次回は、何としても5/8λANTを付け最長距離通信を狙いたい。



駐車場から遠笠山を見上げる

150m低かったら！